

## 茨城県農林水産部長賞

しもくにいじゅうかんきょうほ ぜん かいかつどうそしき

### 下国井住環境保全の会活動組織（水戸市）

## 農村文化の伝承と地域で守る農村環境

### 1 活動組織の概要

取組開始年度	平成 24 年度
組織構成	14 集落，農業者 147 名，非農業者 67 名，子供会，長寿会
支払区分	農地維持支払，資源向上支払（共同，長寿命化）
対象農用地	61.45ha（水田 58.95ha，畑 2.5ha）
対象施設	開水路 6.5km， $\pi^{\circ}$ イ $\pi^{\circ}$ ラ $\pi^{\circ}$ 8.4km，農道 11.5km
交付金額（H29）	5,550 千円



水路の泥上げ



水路の保安全管理

### 2 主な活動内容

準備点検	計画・啓発	実践活動
<ul style="list-style-type: none"><li>施設の点検，機能診断（3月，4月，11月）</li><li>遊休農地発生状況調査（3月）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>年度活動計画の策定（4月）</li><li>地域住民との意見交換会の開催（4月，7月）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>遊休農地発生防止の保全活動（4月，6月，9月）</li><li>水路，路肩，法面の草刈り（4月，7月）</li><li>水路の泥上げ（4月）</li><li>用水施設の機能診断，保守（4月，11月）</li><li>ホタル生息地の整備，生息状況の観察会（6月）</li><li>サツマイモ収穫祭の実施（11月）</li></ul>

### 3 地域の状況と取り組みへのきっかけ

- ・本地域は，水戸市の北西部に位置する平坦な田園地帯です。地域の少子高齢化に伴い，個人による農村環境保安全管理が困難になり，住民間のコミュニケーションの希薄化が進行していました。
- ・これらの問題を解決し「住みやすい地域環境づくり」を実現するため，平成 24 年度に活動を開始しました。

#### 4 特徴的な取組

- ・ 集落内の小学校に加えて、水戸市街地の小学校も参加し、ホタル生息地の整備及び生育状況の観察会、田植や収穫体験等の農村環境保全活動を実施しています。



学校教育と連携した田植え体験の実施



地域住民との交流（ホタル観賞会）



他地域の小学生・保護者との交流（サツマイモ収穫体験・収穫祭）



#### 5 取組の成果・効果

- ・ 地域住民、学校教育（集落内と市街地の小学校）と連携し、施設の維持管理、生き物調査、収穫体験、植栽活動等の農村環境保全活動を行い、農村コミュニティの強化につながりました。
- ・ 地区内 14 集落の非農家を含めた全員（約 200 人）が清掃活動に参加するようになり、農村コミュニティの振興、環境美化意識の向上につながりました。